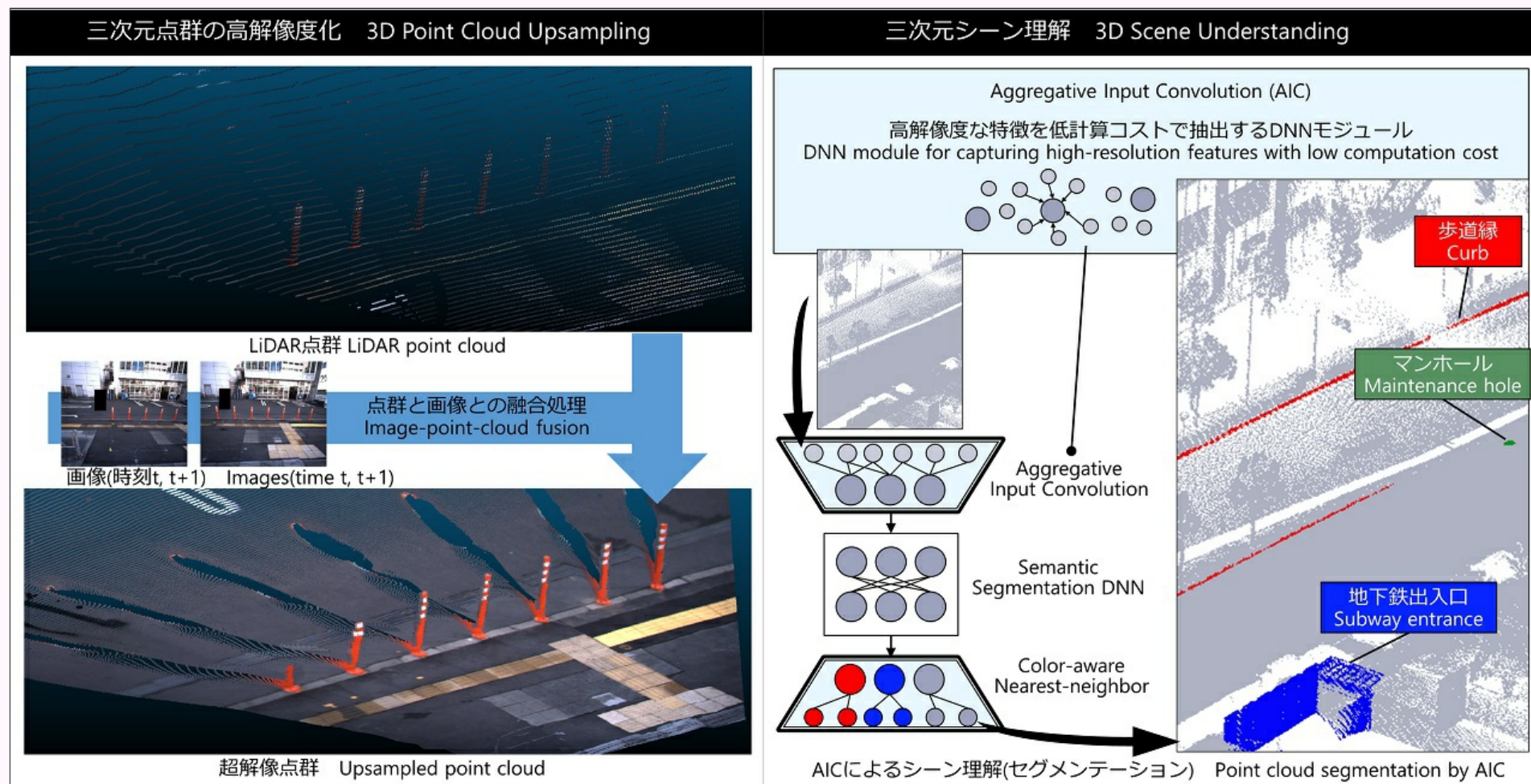




安価なセンサで空間を精細に理解・再現してサイバー世界を構築します

概要

三次元シーン理解のためには、高密度・高価なLiDARによる計測、大量の計算リソースが必要でした。本技術により、安価なLiDARによる低密度な三次元点群を画像を手掛かりに高密度・カラー化し、限られた計算リソースで正確なシーン理解をすることで、計測コストや目視や主導による図化コストを大幅に削減します。



特徴

- ラフなキャリブレーション結果から頑健に安価なセンサから高密度点群を生成
- 計算コストを抑えつつ高密度点群から正確なシーン理解を実現する深層学習モジュール (AIC)

利用シーン

- 自動運転や設備保全に活用可能な意味ラベルの付与された三次元地図の生成
- 社会インフラの保守業務の効率化、協調保全の実現

今後の展開

- 映像や他のセンサデータから更なる高精細・高精度な再現と、さまざまな自然/人工物の識別をめざします。またプロトタイプを開発し、実際のデータを用いて検証し、商用化をめざします。

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先: rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp